



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月11日

上場会社名 株式会社ティーガイア 上場取引所 東
 コード番号 3738 URL <http://www.t-gaia.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹岡 哲朗
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画部長 (氏名) 俣野 通宏 TEL 03-6409-1010
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	287,348	△13.8	5,869	△4.4	5,838	△4.6	3,187	△6.4
26年3月期第2四半期	333,337	△4.6	6,139	13.1	6,116	14.0	3,404	14.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 3,194百万円 (△6.0%) 26年3月期第2四半期 3,397百万円 (15.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	46.36	—
26年3月期第2四半期	43.11	43.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	148,519	25,760	17.2
26年3月期	199,631	23,713	11.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 25,611百万円 26年3月期 23,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
27年3月期	—	17.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	720,000	1.8	13,000	1.9	12,800	1.1	7,250	6.1	105.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	79,074,000株	26年3月期	79,005,600株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	10,300,336株	26年3月期	10,300,336株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	68,747,476株	26年3月期2Q	78,960,107株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成26年11月19日（水）に機関投資家およびアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。

当日使用する資料については、当社ホームページに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4～9月)におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済対策を背景にして、企業収益が改善するなど緩やかな回復基調にありましたが、消費税率引き上げに伴う反動減の長期化が懸念される等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ(当社および連結子会社)の主な事業分野である携帯電話等販売市場においては、主要通信事業者3社の新料金プランが出揃ったことに加え、新型iPhoneをはじめとする魅力的な新機種の発売等により、販売は堅調に推移いたしました。

このような事業環境下、当社グループの携帯電話等販売台数は231万台となり、スマートフォンの販売比率は約7割で推移いたしました。

モバイル事業においては、タブレット等のスマートデバイスの拡販に加え、スマートフォン向けアクセサリ等の関連商材・サービスの販売が増加いたしました。加えて、店舗運営の効率化や全社的な業務効率化等の構造改革にも継続的に取り組みました。

ソリューション事業においては、法人向けモバイルソリューションにおける収益は増加したものの、固定回線系商材の販売が低調に推移いたしました。

決済サービス事業他においては、EC(電子商取引)やSNS(Social Networking Service)上での決済に利用できるPIN販売システムを用いた電子マネー系商材の販売が減少したことに加え、海外事業の展開に積極的に費用を投じました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,873億48百万円(前年同期比13.8%減)、営業利益58億69百万円(同4.4%減)、経常利益58億38百万円(同4.6%減)、四半期純利益31億87百万円(同6.4%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(モバイル事業)

当第2四半期連結累計期間につきましては、前期末の駆け込み需要の反動や通信事業者の販売施策が沈静化したことによる第1四半期の販売台数減少の影響が大きく、売上高は2,313億63百万円(前年同期比12.6%減)となりました。しかしながら、通信事業者の新料金プランが出揃ったことに加え、新型iPhoneをはじめとする新機種の発売により、第2四半期会計期間における販売台数は前年同期比で増加しており、販売市場は回復基調にあります。

利益面においては、社内教育・研修機関である「TGアカデミー」を中心に、スタッフの更なる販売品質向上を図り、タブレット等のスマートデバイスを拡販したことに加え、お客様のスマートフォンライフ充実のため、スマートフォン向けアクセサリ等の関連商材やサービスの提案を継続的に推進いたしました。また、来客状況に合わせた適正な人員配置等による効率的な店舗運営および採算性を重視した販路最適化、全社的な業務効率化等の構造改革に継続的に取り組んだ結果、営業利益は43億33百万円(同5.1%増)となりました。

(ソリューション事業)

当第2四半期連結累計期間につきましては、タブレット等のスマートデバイスおよびキッティングサービス等の各種サポートサービスの販売拡大により、法人向けモバイルソリューションにおける収益は増加いたしました。しかしながら、固定回線系商材については、モバイルブロードバンドとの競争激化により販売が低調に推移した結果、売上高は132億74百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益は12億84百万円(同10.5%減)となりました。

(決済サービス事業他)

当第2四半期連結累計期間につきましては、券面額を売上高とする電子マネー系商材から、受取手数料のみを売上高として計上するギフトカードへと商品構成が変化してきており、売上高は427億10百万円(前年同期比21.4%減)となりました。

利益面においては、PIN販売システムを用いた電子マネー系商材の販売が減少したことに加え、中国やシンガポールでの海外事業の展開に積極的に費用を投じたことにより、営業利益は2億52百万円(同56.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ27.6%減少し、1,327億27百万円となりました。これは主に売掛金が302億87百万円、商品が135億96百万円、未収入金が52億88百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ3.5%減少し、157億91百万円となりました。これは主にのれんが8億3百万円減少し、投資有価証券が2億9百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ25.6%減少し、1,485億19百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ33.7%減少し、1,084億19百万円となりました。これは主に買掛金が171億48百万円、短期借入金が284億99百万円、未払金が43億58百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ15.2%増加し、143億40百万円となりました。これは主に長期借入金が18億57百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ30.2%減少し、1,227億59百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ8.6%増加し、257億60百万円となりました。これは主に四半期純利益31億87百万円による利益剰余金の増加、剰余金の配当12億2百万円による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

当第2四半期連結累計期間業績の、平成26年5月15日に公表いたしました通期業績予想に対する進捗率は、売上高39.9%、営業利益45.1%、経常利益45.6%、四半期純利益44.0%で推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,490	2,172
売掛金	97,706	67,419
商品	45,146	31,549
貯蔵品	131	66
未収入金	34,874	29,586
その他	1,933	1,945
貸倒引当金	△16	△11
流動資産合計	183,266	132,727
固定資産		
有形固定資産	3,152	3,042
無形固定資産		
のれん	5,365	4,561
その他	973	990
無形固定資産合計	6,339	5,552
投資その他の資産		
敷金	4,319	4,349
その他	2,561	2,855
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	6,872	7,197
固定資産合計	16,364	15,791
資産合計	199,631	148,519
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,187	65,038
短期借入金	28,566	67
1年内返済予定の長期借入金	12,100	8,392
未払金	35,120	30,761
未払法人税等	3,286	2,364
賞与引当金	1,427	1,229
短期解約損失引当金	218	144
その他	560	421
流動負債合計	163,466	108,419
固定負債		
長期借入金	10,268	12,125
退職給付に係る負債	389	403
資産除去債務	1,178	1,212
その他	614	599
固定負債合計	12,450	14,340
負債合計	175,917	122,759
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,127	3,154
資本剰余金	5,613	5,640
利益剰余金	23,478	25,463
自己株式	△8,755	△8,755
株主資本合計	23,464	25,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	62
為替換算調整勘定	73	45
その他の包括利益累計額合計	130	108
少数株主持分	119	148
純資産合計	23,713	25,760
負債純資産合計	199,631	148,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	333,337	287,348
売上原価	302,572	257,983
売上総利益	30,764	29,364
販売費及び一般管理費	24,625	23,495
営業利益	6,139	5,869
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	2	3
受取保険料	15	20
損害賠償金収入	32	29
その他	32	16
営業外収益合計	85	70
営業外費用		
支払利息	99	94
その他	8	7
営業外費用合計	107	101
経常利益	6,116	5,838
特別利益		
固定資産売却益	0	0
ゴルフ会員権売却益	—	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除却損	25	32
投資有価証券評価損	24	—
特別損失合計	50	32
税金等調整前四半期純利益	6,066	5,812
法人税、住民税及び事業税	2,537	2,636
法人税等調整額	124	△41
法人税等合計	2,662	2,595
少数株主損益調整前四半期純利益	3,404	3,217
少数株主利益	—	29
四半期純利益	3,404	3,187

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,404	3,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	5
為替換算調整勘定	20	△27
その他の包括利益合計	△6	△22
四半期包括利益	3,397	3,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,397	3,165
少数株主に係る四半期包括利益	—	29

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,066	5,812
減価償却費	646	727
のれん償却額	787	859
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△249	△197
短期解約損失引当金の増減額(△は減少)	2	△74
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△26	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	13
受取利息及び受取配当金	△5	△4
支払利息	99	94
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産除却損	25	32
投資有価証券評価損益(△は益)	24	—
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	—	△6
売上債権の増減額(△は増加)	38,037	30,284
未収入金の増減額(△は増加)	7,788	5,281
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,859	13,657
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,087	△17,147
未払金の増減額(△は減少)	△11,942	△3,721
その他	△180	△20
小計	36,851	35,583
利息及び配当金の受取額	5	4
利息の支払額	△100	△100
法人税等の支払額	△1,755	△3,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,000	31,856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△469	△410
有形固定資産の売却による収入	0	0
ソフトウェアの取得による支出	△130	△102
投資有価証券の取得による支出	△200	△200
投資有価証券の売却による収入	1	—
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	4	2
敷金の差入による支出	△240	△136
敷金の回収による収入	116	108
事業譲受による支出	—	△696
ゴルフ会員権の売却による収入	—	10
その他	△59	△236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△978	△1,661
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,404	△28,483
長期借入れによる収入	—	10,500
長期借入金の返済による支出	△1,386	△12,351
株式の発行による収入	12	53
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,381	△1,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,159	△31,485
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	874	△1,318
現金及び現金同等物の期首残高	1,997	3,490
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,872	2,172

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	モバイル事業	ソリューション事業	決済サービス事業他	合計
売上高	264,592	14,438	54,305	333,337
セグメント利益 (営業利益)	4,123	1,435	580	6,139

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	モバイル事業	ソリューション事業	決済サービス事業他	合計
売上高	231,363	13,274	42,710	287,348
セグメント利益 (営業利益)	4,333	1,284	252	5,869

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。